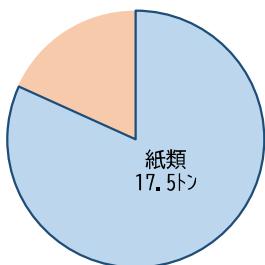


2 事業系ごみの排出状況

(1)業種別のごみ排出及び資源化状況（R4年度条例対象事業所からの報告による）

【小売店】スーパー、ドラッグストアなど

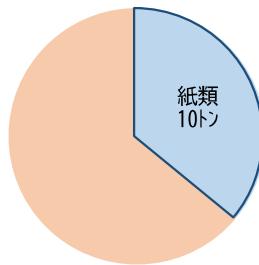
資源化率（高）



焼却ごみ：3.9トン
資源化物：17.5トン
合計量：21.4トン
(資源化率：81.8%)

<資源化物内訳>
紙類：17.5トン

資源化率（低）



焼却ごみ：17.8トン
資源化物：10トン
合計量：27.8トン
(資源化率：36%)

<資源化物内訳>
紙類：10トン

- ▶ 紙類の資源化率に約45ポイントの開きが見られた
- ▶ 資源化率の高い事業者は、梱包の簡易化、電子商取引によるペーパーレス化、折りたたみコンテナ利用による段ボール削減などの取り組みを実施

※小売店業界における焼却ごみの約8%がリサイクル可能な紙類（H28事業者別事業系ごみ組成調査）

7

2 事業系ごみの排出状況

(2)市内のリサイクル業者

古紙リサイクル業者

① リサイクル業者数

20社（紙類を持ち込む業者数）

② 受入品目

新聞紙、チラシ、雑誌、カタログ、段ボール、雑がみ、機密古紙
※機密古紙の受入には処理費用が必要

③ リサイクル方法

古紙リサイクル業者で不適物を取り除き、種類別に分け梱包した後、製紙工場等で溶解などの工程を経て、トイレットペーパーや段ボールなどの紙製品に再生

④ 処理単価

- ・無料引き取り、有償買い取り（30～70円／10kg）の場合がある
- ・機密古紙の処理は250円～／10kgが必要

※収集委託の場合は、別途収集運搬料金が必要

8

2 事業系ごみの排出状況

(2)市内のリサイクル業者

生ごみリサイクル業者

	堆肥化	飼料化
①リサイクル業者数	1社	1社
②受入品目	主に野菜くずなど ※堆肥化・飼料化いずれも、容器・包装紙・割り箸・プラスプーン等の排除が必要	食品全般
③リサイクル方法	排出事業者で不適物を取り除き、貸与された生ごみ処理機で発酵分解。減量したものをリサイクル業者が回収して堆肥化	排出事業者が排出した食品等をリサイクル業者が選別し、高温の油で乾燥（油温減圧法）させて飼料化
④処理単価	処理機貸与 10万円～120万円／月 ※処理能力(100kg～3,000kg)	300～500円／10kg

※収集委託の場合は、いずれも別途収集運搬料金が必要

9

2 事業系ごみの排出状況

(2)市内のリサイクル業者

木材リサイクル業者

① リサイクル業者数 (一般廃棄物処理業者、産業廃棄物処理業者)
5社

② 受入品目
・廃木材（建築廃材、木製家具、木製端材等）
・樹木（剪定枝、幹、根株等）

③ リサイクル方法
・廃木材：破碎後チップ化され、パーティクルボードなどの建築材に再生
・樹木：剪定後チップ化し、建築材やバイオマス発電として活用

④ 処理単価
100～150円／10kg



パーティクルボード

※収集委託の場合は、別途収集運搬料金が必要

10

2 事業系ごみの排出状況

(2) 市内のリサイクル業者

廃プラスチックリサイクル業者

- ① リサイクル業者数（産業廃棄物処理業者）

22社



- ② 受入品目

発泡スチロール、ビニール類、PPバンドなどのプラスチック製品

- ③ リサイクル方法

- ・化学分解し油やガスを製造する（ケミカルリサイクル）ほか、熱エネルギーとして利用（サーマルリサイクル）
- ・収集した廃プラスチックを素材ごとに選別し、破碎して再びプラスチック製品の原料として利用（マテリアルリサイクル）

- ④ 処理単価

300~1,000円／10kg

※収集委託の場合は、別途収集運搬料金が必要

11

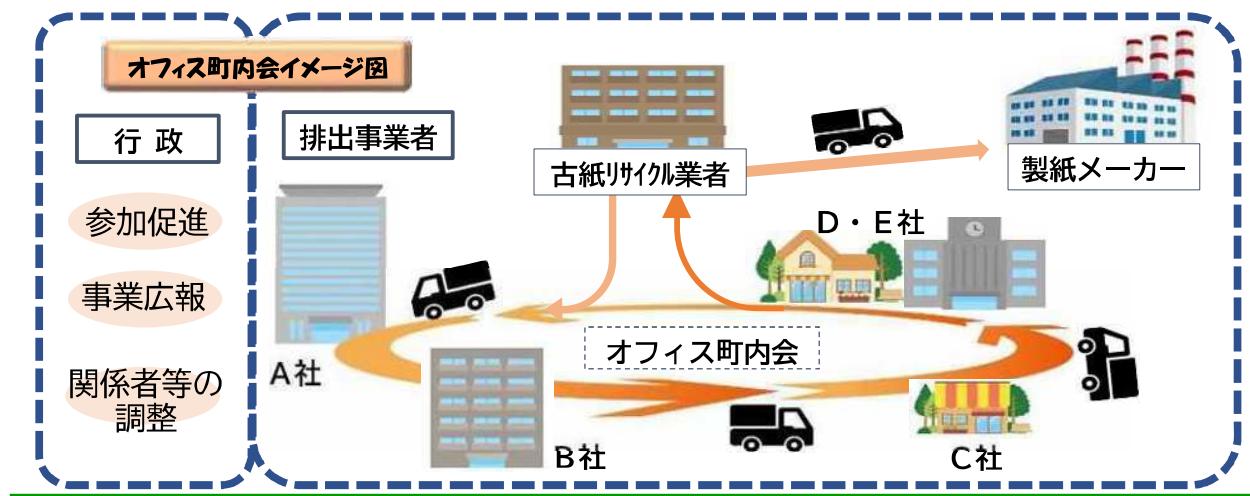
3 対応策①（紙類の分別リサイクル）

(1) オフィス町内会の普及拡大

「オフィス町内会」

古紙の排出量が少ない近接する事業所同士が協力しあい、一定地区を単位として、古紙リサイクル業者と連携し、一定の周期で回収してもらうシステム〔R4実績：13団体、263トン回収〕

- ▶ 古紙リサイクル業者と連携し、行政がテナントビルやオフィスビル、商店街などに働きかけて、拡大を図る

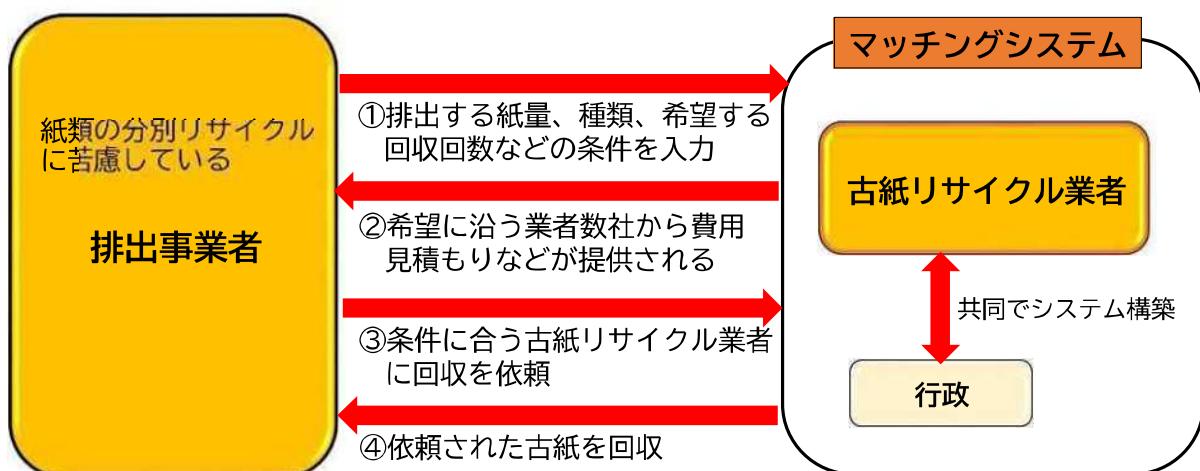


12

3 対応策①（紙類の分別リサイクル）

（2）古紙リサイクル業者と連携したシステム構築

- ▶ 少量の古紙や機密書類などの処理方法やリサイクル業者が分からず焼却処分されている
- ▶ 事業者が手軽に条件に合ったリサイクル業者を探し、選ぶことができるマッチングシステムを構築
- ▶ 紙類を分別することで、排出事業者は処理コストの削減が可能



13

3 対応策①（紙類の分別リサイクル）

（3）その他の紙類分別の促進策

○ 業種別の事業者訪問・伴走支援

業種別の事業者訪問を強化し、ごみ排出状況の聞き取り調査などを通じて、その事業者に適した分別方法やコスト削減の効果について説明し、継続的な指導と支援を実施

○ 古紙保管庫および雑がみ分別ボックスの設置・配布

排出事業者アンケートで、職場に保管場所がないとの声が多くあったことから、古紙保管庫の無償貸与や雑がみ分別ボックスの無料配布の制度に関する周知を強化



14